

教科名	利他育	科目名	利他育
対象	全スタイル	年次	1年 2年 3年
添削指導(回)	6	面接指導 (単位時間)	6
単位数	2	備考	学校設定科目 2単位以上の修得が卒業要件
教科書・補助教材等	レポート 致知		
学習の目的	① 他人やすべてのものに感謝の心を持たせる。 ② ひとのために自分は何ができるかを考えさせる。 ③ 何事にも自信を持って行動できる力を身に付けさせる。		

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	月間 『致知』 の朗読 読んでみての感想、および発表	致知を通して、人としての大切さを学ぶと共に、生徒同士で感想を発表し合い、多角的、多面的な視点で物事を見抜く力を養う。
	5		
	6		
	7	いじめについて考える	いじめた側・いじめられた側のそれぞれの立場で、他者または自らの体験からいじめにたいする自分の考え方を持たせ、どのように行動すればいいか考えさせる
	8		
	9	TPOの大切さを学ぶ	日本人として社会に出ても恥ずかしくないマナーや行動を学び身に付けさせる。

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	正しい言葉使い	高校生として正しい言葉使いを身に付けさせる。
	11	相手を許すことを学ぶ	生徒同士、お互いに対等な人間として尊重させ、問題が起こっても相手を許す勇気をいかにして持つかを学ばせる。
	12		
	1	道徳と良心の違いを学ぶ	道徳を学ばせ、一人の人間として他人との関係を円滑にする方法を学ばせ身に付けさせる。
	2		
	3	まとめ	1年間の学習を振り返る

学習上の留意点	他者への思いやりの心を持ちながら、自分の夢に向かってどのように行動すればいいのかを考え行動させる。
---------	---

評価の観点		評価方法
関心・意欲・態度	他者への思いやりの心を持ち、主体的に考え行動しようとする姿勢があるかどうか。	レポートの提出の評価と左記の観点を基に主体的に学習に取り組む態度を総合的に評価する。ただし、評定はつけず合否のみの評価とする。
知識・理解	先人の英知を知ることによって、常に相手の立場に立って考えることができるかどうか。	
思考・判断・表現	この学習をとおして、人としての他人や社会のために何が役立つかを考え、何事にも諦めずに行動ができているかどうか。	